

AAF C例会資料

## 空芯MCカートリッジの改造品で聴くヨーゼフ・ハイドン

空芯型MCカートリッジ「SONY XL-MC1」を改造し、弱点であったケーシングの剛性を強化し音質改善にチャレンジした。

改造方法は、交換針ユニット(発電機構部)を削り出し加工したドライカーボンブロックに埋め込んで一体化した。音質改善効果としては、低域の解像度が向上したと感じられた。

シェルは、スネークウッド(南米ギアナ産)の削り出し、重量調整用スペーサーは、ドライカーボンと銅版の積層品、スタビライザーは、縞黒檀(インドネシア産)とドライカーボンの複合型を自作。

## カートリッジの概要

型式 MC型カートリッジ

出力電圧0.2mV(1kHz、5cm/s、45°)

周波数特性 10Hz~45kHz

チャンネルセパレーション 30dB以上(1kHz)

チャンネルバランス 1.0dB以内(1kHz)

直流抵抗40Ω

コンプライアンス 20x10-6cm/dyne

針圧 1.2~1.8g(推奨値 1.5g)

針先形状0.3x0.8mil 楕円ダイヤモンド針

※MC-XL1 (1982年製)

サマリウムコバルトのリングマグネット、空芯8の字コイル採用



オリジナルのMC-XL1



改造後のMC-XL1

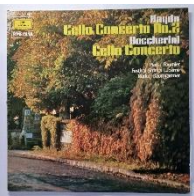





ドライカーボン製ボディ



スネークウッド製シェル

## ◆本日の演奏曲・・・Joseph Haydn 協奏曲アラカルト

- |   |   |   |         |
|---|---|---|---------|
| ① |  | チェロ協奏曲 第2番 二長調 Hob. VII b : 2 第1楽章<br>チェロ：ピエール・フルニエ<br>ルツェルン祝祭管弦楽団<br>指揮：ルドルフ・バウムガルトナー<br>MGW5187   | 13' 48" |
| ② |  | 協奏交響曲 変ロ長調 Hob. I 105 第1, 2楽章<br>(オーボエ、ファゴット、ヴァイオリン、チェロと管弦楽のための)<br>コレギウム・アウレウム合奏団<br>コンサートマスター：フランツヨゼフ・マイヤー<br>ULS-3176-H                            | 14' 30" |
| ③ |  | チェンバロ協奏曲 二長調 Hob. XVIII-11 第2, 3楽章<br>チェンバロ：ロベール・ヴィイロン＝ラクロワ<br>トゥールーズ室内管弦楽団<br>指揮：ルイ・オーリアコンブ<br>EAC-80200   | 11' 27" |
| ④ |  | ギター協奏曲 二長調 Hob. III : 8 第1, 2楽章<br>(原曲は、弦楽四重奏曲第8番 ホ長調)<br>オーストリアのギタリスト、カール・シャイトによる編曲<br>ギター：ヴラディミール・ミクルカ<br>ヤナーチェク室内管弦楽団 指揮：イジー・ピンカス<br>BM 30 SL 1415 | 11' 30" |